３Ｒに関する府民の意識と行動に関する調査結果

資料１－３

【調査概要】

・インターネットを活用したアンケート制度「おおさかＱネット」による府民へのアンケートを実施（平成２７年８月７日）

・回答総数１０００（国勢調査結果（平成22年）に基づく性・年代・居住地（８地域）の割合で割り付けた15歳以上の大阪府民）

表1-3-1　回答者の内訳



・各配信エリアは次のとおりである。

　「大阪市」＝大阪市

　「豊能」＝箕面市、池田市、豊中市、能勢町、豊能町

　「三島」＝吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、島本町

　「北河内」＝枚方市、交野市、四條畷市、大東市、寝屋川市、門真市、守口市

「中河内」＝東大阪市、八尾市、柏原市

「南河内」＝松原市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

「泉北」＝堺市、高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町

「泉南」＝岸和田市、貝塚市、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、熊取町

【調査結果】

　○日頃の３Ｒの取組み状況について

　　・年齢層別の３Ｒの取組み状況を表1-3-2に示す。

表1-3-2　年齢別の３Ｒの取組み状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：％）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組み状況 | 全体 | 若者層  （15～39歳） | 壮年層  （40～59歳） | 高齢層  （60歳以上） |
| 積極的に取組んでいると思う。 | 8.6 | 6.6 | 6.7 | 12.9 |
| ある程度取組んでいると思う。 | 46.0 | 39.4 | 45.8 | 54.2 |
| あまり取組んでいないと思う。 | 24.0 | 27.0 | 24.0 | 20.3 |
| ほとんど取組んでいないと思う。 | 12.2 | 15.3 | 14.1 | 6.5 |
| わからない。 | 9.2 | 11.6 | 9.3 | 6.1 |

・全体としては、「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」を合わせると５４．６％と半数以上の府民が３Ｒに取組んでいる。

・年齢層が上がるにつれ３Ｒに取組んでいる割合が高い。

　・地域別の３Ｒの取組み状況を表1-3-3に示す。

表1-3-3　地域別の３Ｒの取組み状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：％）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組み状況 | 大阪市 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内 | 泉北 | 泉南 |
| 積極的に取組んでいる。 | 6.6 | 8.1 | 8.1 | 10.4 | 7.4 | 9.7 | 12.9 | 7.7 |
| ある程度取組んでいる。 | 46.6 | 48.6 | 48.4 | 53.0 | 41.5 | 40.3 | 40.9 | 44.6 |
| あまり取組んでいない。 | 25.2 | 28.4 | 23.4 | 21.6 | 22.3 | 23.6 | 22.0 | 26.2 |
| ほとんど取組んでいない。 | 13.1 | 8.1 | 11.3 | 10.4 | 12.8 | 19.4 | 12.9 | 7.7 |
| わからない。 | 8.5 | 6.8 | 8.9 | 4.5 | 16.0 | 6.9 | 7.7 | 13.8 |

○３Ｒの行動についての考え　（複数回答可）

　・年齢別の３Ｒの行動についての考えを表1-3-4に示す。

表1-3-4　年齢別の３Ｒの行動についての考え

　　　　（単位：％）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組み状況 | 全体 | 若者層  （15～39歳） | 壮年層  （40～59歳） | 高齢層  （60歳以上） |
| １人ひとりが取組むことが重要である。 | 59.4 | 47.6 | 60.3 | 72.9 |
| 環境保護のために必要である。 | 43.0 | 34.9 | 39.7 | 56.1 |
| 手間隙がかかる。 | 24.9 | 30.4 | 23.7 | 19.4 |
| 生活が不便になる。 | 9.6 | 9.8 | 7.4 | 11.6 |
| １人ひとりが取組んでも、効果があるとは思えない。 | 5.8 | 8.2 | 6.1 | 2.6 |
| わからない。 | 11.7 | 14.0 | 12.5 | 8.1 |

・３Ｒの行動の重要性については、「１人ひとりが取組むことが重要である」と考えている府民の割合が59.4％あるなど、肯定的な回答のほうが否定的な回答よりも多かった。

・否定的な回答の中で最も多かったのが、「手間隙がかかる」であり、年齢層が低くなるほど割合が高くなっていた。

　・３Ｒの行動についての考えと、行っている取組みについて、クロス集計した結果を表1-3-5に示す。

表1-3-5　３Ｒの行動についての考えと取組み

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：％）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組み状況 | １人ひとりが  取組むことが重要 | 環境保護の  ために必要 | 手間隙が  かかる |
| 積極的に取組んでいると思う。 | 10.4 | 13.0 | 6.0 |
| ある程度取組んでいると思う。 | 58.8 | 61.6 | 46.6 |
| あまり取組んでいないと思う。 | 22.7 | 19.5 | 27.7 |
| ほとんど取組んでいないと思う。 | 5.9 | 4.2 | 16.1 |
| わからない。 | 2.2 | 1.6 | 3.6 |

・３Ｒの取組みについて、「１人ひとりが取組むことが重要」「環境保護のために必要」と考えている人のうち、69.2％、74.6％と多くの人が「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」と回答していた。

・一方、「手間隙がかかる」と考えている人でも半数を超える人が「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」と回答していた。

○日頃取組んでいる３Ｒの取組みについて

　　日頃取組んでいる３Ｒの取組みについて、表1-3-6に示す。

表1-3-6　日頃取り組んでいる３Ｒの取組み

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（複数回答可）　　　　　（単位：％）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組み | 全体 | 若者層  （15～39歳） | 壮年層  （40～59歳） | 高齢層  （60歳以上） |
| 詰め替え製品を買うようにしている。 | 62.7 | 55.6 | 66.3 | 67.7 |
| ごみは市町村で定められた分別に従って出している。 | 62.3 | 47.1 | 65.4 | 77.7 |
| レジ袋をもらわないようにしたり、マイバックを持参している。 | 56.8 | 49.2 | 56.1 | 66.8 |
| 買い過ぎ、作り過ぎをせず、食品を捨てないようにしている。 | 44.1 | 36.8 | 45.8 | 51.3 |
| 壊れたものは修理して、長く使用するようにしている。 | 34.7 | 27.8 | 32.7 | 45.2 |
| 牛乳パックやトレイなどの店頭回収に協力している。 | 34.5 | 23.3 | 36.9 | 45.8 |
| 簡易包装に取組んだり、使い捨ての箸を使用しない店を選ぶ。 | 14.8 | 10.1 | 17.6 | 17.7 |
| フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを利用している。 | 11.5 | 12.7 | 12.2 | 9.4 |
| リサイクル製品を購入するようにしている。 | 10.2 | 7.1 | 11.2 | 12.9 |
| レンタルやリースを利用している。 | 4.6 | 4.5 | 6.4 | 2.9 |
| 取組んでいない。 | 10.8 | 15.3 | 10.3 | 5.8 |

・半数以上取り組んでいることは、リデュースの取組みでは、「詰め替え製品を買うようにしている」「レジ袋をもらわないようにしたり、マイバッグを持参している」、

リサイクルの取組みでは、「ごみは市町村で定められた分別に従って出している」であった。しかし、「レジ袋をもらわないようにしたり、マイバッグを持参している」「ごみは市町村で定められた分別に従って出している」については、若者層で取り組んでいるのは半数以下であった。

・年齢層が高くなるほど、取組んでいる割合が多くなっている。

・「フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを利用している」「リサイクル製品を購入するようにしている」「レンタルやリースを利用している」に取り組んでいる割合は、他の取組みと比較して低かった。

○まとめ

・半数以上の府民が３Ｒに取組んでいる。

・年齢層が上がるにつれ３Ｒの取組み割合が高くなっている。

・３Ｒの取組みが必要と考えている人は、高い割合で３Ｒに取組んでいるが、「手間隙がかかる」と考えている人も半数を超える人が３Ｒに取組んでいる。

・「詰め替え製品を買う」「レジ袋をもらわない」といった取組みやすい行動は、取組んでいる割合が高くなっている。